

令和 3 年 度

印旛広域水道用水供給事業

下半期事業概要報告書

自 令和 3 年 10 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

一. 令和3年度下半期の事業概要

1. 事業の概要

下半期の用水供給量は、10,601,517 m³（一日平均58,250 m³）で前年度同期の用水供給量 10,257,668 m³（一日平均56,361 m³）との比較では343,849 m³（対前年度同期比3.35%）の増となっています。

契約状況については、保存工事として鹿島川水管橋塗装修繕工事を締結しました。

なお、本年度下期の業務量は、次のとおりです。

区 分	令和3年度下半期 (m ³)	令和2年度下半期 (m ³)	増 減 (m ³)	前年度比 (%)
取 水 量	11,083,180	10,711,310	371,870	3.47
送 水 量	10,622,137	10,263,088	359,049	3.50
有 収 水 量	10,601,517	10,257,668	343,849	3.35

2. 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

収益的収支については、事業収益2,059,537,186円に対し、事業費用は、1,858,865,775円となりました。

事業収益の内訳は、営業収益1,979,952,101円、営業外収益75,893,476円及び特別利益3,691,609円となっています。

また、事業費用の内訳は、営業費用1,749,993,531円、営業外費用84,612,254円及び特別損失24,259,990円となりました。

なお、前年度同期の事業収益（2,044,700,634円）との比較では14,836,552円（対前年度同期比0.73%）の増収となり、また、前年度同期の事業費用（2,074,998,518円）との比較では216,132,743円（対前年度同期比10.42%）の減額となっています。

一方、資本的収支については、資本的収入額70,713,000円に対し、資本的支出額は877,726,453円となりました。

資本的収入の内訳は、企業債が23,300,000円、国庫補助金が22,834,000円、出資金が24,579,000円となり、資本的支出の内訳は、新設工事費が79,296,309円、建設改良費が665,993,534円、企業債償還金が125,563,926円、年賦償還金が6,872,684円となっております。

(1) 収益的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収入

(単位：円)

	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A - B - C)	予算対比 (%) (C / A)
事業収益	4,151,539,000	2,070,497,539	2,059,537,186	21,504,275	49.6
営業収益	3,971,525,000	1,984,359,622	1,979,952,101	7,213,277	49.9
営業外収益	176,524,000	86,137,917	75,893,476	14,492,607	43.0
特別利益	3,490,000	0	3,691,609	△ 201,609	105.8

支出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)	上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A - B - C)	予算対比 (%) (C / A)
事業費用	3,631,457,000	1,681,086,234	1,858,865,775	91,504,991	51.2
営業費用	3,514,213,200	1,658,492,314	1,749,993,531	105,727,355	49.8
営業外費用	107,243,800	22,593,920	84,612,254	37,626	78.9
特別損失	0	0	24,259,990	△ 24,259,990	—
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

(2) 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

収入

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A - B - C)	予算対比 (%) (C / A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合計				
資本的収入	72,996,000	0	0	72,996,000	2,283,000	70,713,000	0	96.9
企業債	23,300,000	0	0	23,300,000	0	23,300,000	0	100.0
国庫補助金	22,834,000	0	0	22,834,000	0	22,834,000	0	100.0
出資金	26,862,000	0	0	26,862,000	2,283,000	24,579,000	0	91.5

支出

(単位：円)

区 分	予算額 (A)				上半期執行額 (B)	下半期執行額 (C)	予算残額 (A - B - C)	予算対比 (%) (C / A)
	予算額	法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計				
資本的支出	983,205,000	143,781,000	84,467,561	1,211,453,561	147,324,437	877,726,453	186,402,671	72.5
新設工事費	73,500,300	0	84,467,561	157,967,861	25,409	79,296,309	78,646,143	50.2
建設改良費	636,143,700	143,781,000	0	779,924,700	16,175,754	665,993,534	97,755,412	85.4
企業債償還金	249,873,000	0	0	249,873,000	124,308,913	125,563,926	161	50.3
年賦償還金	13,688,000	0	0	13,688,000	6,814,361	6,872,684	955	50.2
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

3. 工 事

(1)建設工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日	
本榎分岐水道用地 フェンス等設置工 事	1. ネットフェンス設置工(鋼管基礎)	37m	4,620,000	令和3. 8. 25	令和 3.11.29
	2. ネットフェンス設置工(基礎ブロック)	19m			
	3. 両開門扉設置工	1基			
	4. 片開門扉設置工	1基			
	5. 舗装工	153㎡			

(2)改良工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日 (予定年月日)
印東加圧ポンプ場 1・2号調整池耐震 補強工事	1. 車路築造工 2. 1号調整池耐震補強工 3. 2号調整池耐震補強工	1式 1式 1式 436,489,422 (1,028,572,600)	令和2. 8. 7	(令和5. 2.28)
酒々井町尾上供給 地点計装設備更新 工事	1. 計装設備更新工 2. 直流電源装置更新工	1式 1式 131,736,000	令和2. 8.12	令和4. 3.25
長門川分岐地点及 び成田市並木町供 給地点計装設備更 新工事	1. 長門川分岐地点計装設備更新工 2. 成田市並木町供給地点計装設備更新工 3. 印東加圧ポンプ場側設備機能改造工 4. 北総浄水場側設備機能改造工	1式 1式 1式 1式 69,300,000 (192,500,000)	令和3. 3.17	(令和5. 3.17)
佐倉市志津供給地 点圧力・流量調節 弁更新工事	1. φ 250mm電動ロート弁更新工 2. φ 250mmソフトシール仕切弁更新工 3. φ 100mmソフトシール仕切弁更新工 4. 試運転調整	2基 1基 1基 1式 0 (84,810,000)	令和3. 7.15	(令和4. 6.30)

(注)工事費の()書きは工事費総額であり、上段は当該年度執行分である。

(3)保存工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日
鹿島川水管橋塗装 修繕工事	1. 水管橋塗裝修繕工 2. 仮設工(パイプ吊り足場等)	600㎡ 1式 16,621,000	令和3.10.22	令和4. 2.28

二. 令和3年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
水道用水供給事業損益計算書(消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

各項目の上段()内は、令和3年度下期の数値を示す。

(単位:円)

1 営業収益			
	(1,799,956,478)		
(1) 給水収益	3,603,919,795		
	(0)	(1,799,956,478)	
(2) その他の営業収益	0	3,603,919,795	
2 営業費用			
	(1,025,227,049)		
(1) 原水及び浄水費	2,097,567,734		
	(190,524,670)		
(2) 送水費	259,423,182		
	(51,754,457)		
(3) 総係費	96,670,704		
	(360,480,685)		
(4) 減価償却費	720,893,807		
	(2,893,420)	(1,630,880,281)	
(5) 資産減耗費	2,893,420	3,177,448,847	
営業利益			(169,076,197)
			426,470,948
3 営業外収益			
	(756,000)		
(1) 他会計補助金	1,194,000		
	(0)		
(2) 受取利息及び配当金	0		
	(73,433,853)		
(3) 長期前受金戻入	159,127,517		
	(1,562,367)	(75,752,220)	
(4) 雑収益	1,568,620	161,890,137	
4 営業外費用			
	(21,289,131)		
(1) 支払利息	43,883,051		
	(5,944)	(21,295,075)	(54,457,145)
(2) 雑支出	5,944	43,888,995	118,001,142
経常利益			(223,533,342)
			544,472,090
5 特別利益			
	(201,600)		
(1) 過年度損益修正益	201,600		
	(3,490,009)	(3,691,609)	
(2) その他特別利益	3,490,009	3,691,609	
6 特別損失			
	(24,259,990)	(24,259,990)	(△20,568,381)
(1) 過年度損益修正損	24,259,990	24,259,990	△20,568,381
当年度純利益			(202,964,961)
			523,903,709
前年度繰越利益剰余金			(△413,230,616)
			0
その他未処分利益剰余金変動額			(249,872,839)
			249,872,839
当年度未処分利益剰余金			39,607,184
			773,776,548

三. 令和3年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
 水道用水供給事業貸借対照表(消費税及び地方消費税抜き表示)
 (令和4年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部			
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ.	土地	300,735,514	
ロ.	建物	295,775,074	
	減価償却累計額	<u>△ 174,251,876</u>	121,523,198
ハ.	構築物	14,158,512,228	
	減価償却累計額	<u>△ 9,587,723,619</u>	4,570,788,609
ニ.	機械及び装置	3,793,596,459	
	減価償却累計額	<u>△ 2,387,121,167</u>	1,406,475,292
ホ.	工具器具及び備品	4,114,780	
	減価償却累計額	<u>△ 2,748,336</u>	1,366,444
ヘ.	建設仮勘定	700,924,639	
	有形固定資産合計		<u>7,101,813,696</u>
(2) 無形固定資産			
イ.	水利権	7,213,832	
ロ.	ダム使用権	12,034,057,782	
ハ.	電話加入権	547,100	
ニ.	その他無形固定資産	479,210	
	無形固定資産合計		<u>12,042,297,924</u>
(3) 投資その他の資産			
イ.	前払退職手当負担金	111,648,819	
	投資その他の資産合計		<u>111,648,819</u>
	固定資産合計		<u>19,255,760,439</u>
2 流動資産			
(1)	現金預金	5,098,875,893	
(2)	未収金	418,929,175	
(3)	貯蔵品	1,646,210	
(4)	前払金	170,500	
	流動資産合計		<u>5,519,621,778</u>
	資産合計		<u><u>24,775,382,217</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

2,873,238,185

企業債合計

2,873,238,185

(2) 年賦未払金

130,076,437

固定負債合計

3,003,314,622

4 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

258,037,865

企業債合計

258,037,865

(2) 年賦未払金

13,259,373

(3) 未払金

217,100,852

(4) 引当金

賞与引当金

12,490,000

引当金合計

12,490,000

その他流動負債

722

その他流動負債

722

流動負債合計

500,888,812

5 繰延収益

(1) 長期前受金

10,258,457,951

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 5,512,585,613

繰延収益合計

4,745,872,338

負債合計

8,250,075,772

資本の部

6 資本金

14,207,333,960

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 国庫補助金

182,318,901

ロ. その他資本剰余金

444,289,033

資本剰余金合計

626,607,934

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

917,588,003

ロ. 当年度未処分利益剰余金

773,776,548

利益剰余金合計

1,691,364,551

剰余金合計

2,317,972,485

資本合計

16,525,306,445

負債・資本合計

24,775,382,217

注 記 表

I 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法
・貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・定額法

・主な耐用年数

建物:65年、構築物:40年、機械及び装置:15年、器具及び備品:5～15年

(2) 無形固定資産

・定額法

3 引当金の計上基準

(1) 退職手当給付引当金

一般会計との協議により、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と千葉縣市町村総合事務組合への積立額を比較したところ、積立額が要支給額を超える負担額となっており、前払費用として前払退職手当負担金を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費の支払に備えるため、本年度末における支給見込額に基づき、本年度の負担に属する額を計上している。

4 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 貸借対照表

1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和3年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費を支出するため、13,857千円を取り崩している。

四. 令和4年度予算の概要

1. 予算の概要

令和4年度予算は、水道用水供給量22,276,300m³（一日平均61,031m³）で前年度比122,300m³（0.55%）の供給量減となっています。

資本的支出の新設工事費は、霞ヶ浦導水建設事業の負担金を計上しました。建設改良費は、「印東加圧ポンプ場1・2号調整池耐震補強工事」（令和2年度～令和4年度）、「長門川分岐地点及び成田市並木町供給地点計装設備更新工事」（令和2年度～令和4年度）等を計上しました。

収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	比較増減
事業収益	4,050,853,000	4,172,411,000	△ 121,558,000
営業収益	3,871,165,000	3,985,649,000	△ 114,484,000
営業外収益	172,288,000	175,494,000	△ 3,206,000
特別利益	7,400,000	11,268,000	△ 3,868,000

支出

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	比較増減
事業費用	3,671,274,000	3,936,492,000	△ 265,218,000
営業費用	3,617,863,000	3,870,044,000	△ 252,181,000
営業外費用	43,411,000	56,448,000	△ 13,037,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

資本的収入及び支出

収入

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	比較増減
資本的収入	154,640,000	72,996,000	81,644,000
企業債	50,000,000	23,300,000	26,700,000
国庫補助金	50,000,000	22,834,000	27,166,000
出資金	54,640,000	26,862,000	27,778,000

支出

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	比較増減
資本的支出	1,397,936,000	1,178,431,000	219,505,000
新設工事費	150,000,000	81,021,000	68,979,000
建設改良費	963,899,000	823,849,000	140,050,000
企業債償還金	258,038,000	249,873,000	8,165,000
年賦償還金	13,923,000	13,688,000	235,000
国庫補助金返還金	2,076,000	0	2,076,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

2. 事業の経営方針

当組合は、構成団体の早期供給要望に対し、浄水場等基幹施設の建設を先送りし、千葉県企業局への浄水加工委託により、昭和57年度に一部給水を開始し、平成5年度から全構成団体へ供給となっております。

また、平成17年度から「水道施設の使用及び業務委託に関する協定書」を締結し、千葉県企業局の行政財産の使用許可及び浄水処理等の業務委託による方式に改めたものがあります。

経営状況ですが、平成19年度に累積欠損金が解消され令和3年度決算におきましても、544,472,090円の経常利益となっており、資金不足額も無く、流動比率も高く、良好な経営状態にあると判断されるところであります。

しかし、今後は資本費の負担や施設の更新事業費が多大に見込まれ、厳しい経営を余儀なくされることが想定されるため、更なる経営の効率化に努めます。

さらに、事業費の大半は、千葉県企業局施設の使用料及び浄水処理等の委託料であり、長期の財政を見通すことは大変困難であります。

今後も水道用水の供給を安定して行うため、将来の水需要を的確に把握し、事業運営を効率的に行います。